

● 活動目的

1. 当院の登録は二次救急であるが、現実には一次から三次救急まで対応している。それらに対応する院内救急部門(救急科)の診療を円滑に運営し、救急医療の質の向上を図ること。
2. 院内救急の充実を図ること
3. 岡山県災害拠点病院指定に伴う災害時の院内外医療体制の整備を図ること。

● 活動状況

主に以下の活動を行っている。

1. 救急運営対策室会議開催(不定期月 第4金曜日 2020年度は5回開催)
2. 年末年始、ゴールデンウィーク等の連休における救急外来の運営対策
3. 院内急変患者の診療状況の分析とそれに基づく院内救急の改善の検討
4. 救急車の物品点検(毎月第3金曜日)
5. 初期研修医対象院内 ICLS コース等の急変対応コースの開催・誘致
6. 対外的活動・定例会議出席
 - 1) 岡山県南東部メディカルコントロール協議会
 - 2) 岡山市救急業務連絡協議会
 - 3) 岡山県救急医療情報システム運営委員会
7. 救急救命士実習受け入れ(岡山市消防局1名)
8. 職員を対象とした心肺蘇生講習。とくに医師看護師以外への PUSH 講習会開催
9. その他、多角的視点からの院内救急改善の検討(COVID-19 関係は COVID-19 外来対策チームが担当)

2021年度の救急関連統計: 救急車受入れ台数は、昨年度比196台増の、3074台で、昨年度比196台増であった。また、救急患者延べ数は14434名と、前年度比2568名増、救急紹介患者数は2754名(28名増)と軒並み増加した。一方緊急入院患者数は3810名(1291名減)減少した。救急車応需率は78.2%と前年度の87.5%から低下した。コロナ禍における救急診療が日常となり、救急外来の運用がスムーズとなったことが患者数や救急受入れの増加につながったと考える。一方で、入院を必要としない。COVID-19疑似症などの比較的軽症の患者数増加が救急患者数増加や職員や患者のCOVID-19罹患にともなう病棟閉鎖などが入院患者、応需率の減少につながったと考える。

室における協議事項・実績【心肺蘇生講習会の開催】例年行っている初期研修医(1回 16名)および放射線科スタッフ(2回 28名)対象の講習のほか、病院機能評価受審において、職員に対する心肺蘇生訓練を行っていることが認定条件として挙げられていることから、10月から1月にかけて主に一般職員に対する心肺蘇生講習(PUSH講習会)を行った(22回 255名)。

新型コロナウイルス感染症対応については院長直轄のCOVID-19外来対応チームで議論、決定されており、その内容について当室に報告があり、意見を提示した。

救急受診患者数・救急車搬入台数・ 緊急入院患者数



2021年度 月別救急患者数

